

**科学研究費助成事業 研究成果報告書**

平成 27 年 6 月 12 日現在

機関番号：14401

研究種目：基盤研究(A)

研究期間：2011～2014

課題番号：23242014

研究課題名(和文) アーツ・アンド・クラフツと民藝 ウィリアム・モリスと柳宗悦を中心とした比較研究

研究課題名(英文) A Comparative Study of the Arts and Crafts and the Mingei Movements

## 研究代表者

藤田 治彦 (Fujita, Haruhiko)

大阪大学・文学研究科・教授

研究者番号：00173435

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 23,400,000円

研究成果の概要(和文)：アーツ・アンド・クラフツ運動と民藝運動の比較研究を、ウィリアム・モリスと柳宗悦を中心に行った。柳宗悦はウィリアム・モリスから影響を受けたが、モリスを批判することもあり、むしろその批判が柳の後継者たちに受け継がれ、アーツ・アンド・クラフツ運動と民藝運動とは意外に冷淡な関係にあった。しかし、本研究ならびにその準備となった研究を通じて、少なくとも、モリス研究者と柳研究者、そしてアーツ・アンド・クラフツ運動研究者と民藝運動研究者との間の交流は大いに進み、従来指摘されていなかったさまざまな関係が明らかになり、研究メンバーによって発表された。

研究成果の概要(英文)：This is one of the first major comparative studies of the Arts and Crafts and the Mingei Movements, centered around William Morris and Muneyoshi Yanagi. Although influenced by the thoughts and practices of Morris, Yanagi also criticized Morris. Followers of Yanagi were not very positive about Morris, and the most members of the Mingei Movement have adopted an attitude of indifference toward the Arts and Crafts movement. This group study and its preparation, however, created more harmonious relationship between major researchers of these two important movements and their leaders, William Morris and Muneyoshi Yanagi. Various new facts and interrelationships have been pointed out by the members of this group study.

研究分野：人文学

キーワード：アーツ・アンド・クラフツ運動 民藝運動 ウィリアム・モリス 柳宗悦 比較研究

### 1. 研究開始当初の背景

アーツ・アンド・クラフツ運動と民藝運動に関する研究は、前者はイギリス、後者は日本を中心に行われているが、両運動の比較や、それぞれの運動の中心であったウィリアム・モリスと柳宗悦の本格的比較研究は、日英両国でも、ほとんど行われていない。

### 2. 研究の目的

本研究の目的は、アーツ・アンド・クラフツ運動とウィリアム・モリスの研究者と、民藝運動と柳宗悦の研究者が互いに協力して、両運動の思想上および実践上の関係を解明するとともに、その徹底的比較を通じて初めて見えてくる事実を踏まえ、それぞれの運動の世界史的意味を明らかにすることである。

### 3. 研究の方法

本研究では、年間テーマの設定、二段階の研究報告書の作成、国内発表と国際発表の積極的推進を研究計画・方法の根幹とした。

### 4. 研究成果

日本を代表するウィリアム・モリスとアーツ・アンド・クラフツ運動の研究者、ならびに柳宗悦と民藝運動の研究者が一堂に会し、4年間の共同研究を実現できたことが第一の成果である。この種の共同研究としては世界で初めての試みであった。

「研究の方法」に述べたように、研究第2年目の平成25年3月には「アーツ・アンド・クラフツと民藝 ウィリアム・モリスと柳宗悦を中心とした比較研究」の調査研究中間報告書を、第4年目(最終年)の平成27年3月には「アーツ・アンド・クラフツと民藝 ウィリアム・モリスと柳宗悦を中心とした比較研究」の調査研究最終報告書を刊行することができた。

研究代表者の藤田治彦は、おもにアーツ・アンド・クラフツ運動と唯美主義との関係を、研究前半には19世紀の第3四半世紀を中心に、研究後半にはモリスの晩年である19世紀の第4四半世紀から現在までを中心に調査研究し、現代(21世紀)におけるモリスの思想と実践の意義について、最新の情報をもとに分析研究した。

川端康雄は、研究前半にはジョン・ラスキンの御木本隆三への思想的影響について、研究後半にはウィリアム・モリスの柳宗悦への影響について研究し、両者の実際の生活のあり方を具体的に比較検討した。

横山千晶は、研究前半には式場隆三郎や大原孫三郎と民藝運動との関係について研究し、それに基づいて、研究後半には、山形県庄内地方における郷土玩具の研究を踏まえて、ウィリアム・モリスと柳宗悦の玩具論を展開した。

川島智生は、研究前半には柳宗悦の我孫子の家について研究し、研究後半には柳宗悦の建築観について、渡邊重三郎邸を実例として

考察した。

吉村典子は、研究前半にはベイリー・スコットを中心に、アーツ・アンド・クラフツの建築の間取りについての考察を深め、研究後半には、アーツ・アンド・クラフツ運動における小住宅(コテージ)の研究をまとめた。

鈴木禎宏は、研究期間全体を通して、アーツ・アンド・クラフツ運動と民藝運動の比較研究を進め、独自の「対抗産業革命」論を充実させた。

橋本順光は、研究前半にはイギリス・アイルランドのアーネスト・ハートとアリス・ハートのジャポニズムについて調査結果し、研究後半にはインドのグルチャラ・シンについての独自の研究をまとめた。

濱田琢司は、研究前半には、祖父である濱田庄司のイギリス滞在以後の日本的なものへの展開について研究し、研究後半には民藝運動と農民美術運動を比較して、発明と創造、消費と生産についての考察を深めた。

以上のような研究代表者と研究分担者による調査研究によって、イギリスから全世界に拡大したアーツ・アンド・クラフツ運動と、その影響を受けながらも、独自の美的思想を形成し、アーツ・アンド・クラフツ運動とは異なったかたちで実践を繰り広げ、現在にまで至っている日本の民藝運動の、世界的意味がそれぞれに明らかになった。

### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計17件)

藤田治彦、現代に生きるモリスと柳 - アーツ・アンド・クラフツ運動と民藝運動、アーツ・アンド・クラフツと民藝 ウィリアム・モリスと柳宗悦を中心とした比較研究 調査研究最終報告書、2015、1 - 10

川端康雄、モリスと柳、日々の暮らし レッド・ハウス時代と我孫子時代、アーツ・アンド・クラフツと民藝 ウィリアム・モリスと柳宗悦を中心とした比較研究 調査研究最終報告書、2015、11 - 24

横山千晶、ウィリアム・モリスと柳宗悦の玩具論、アーツ・アンド・クラフツと民藝 ウィリアム・モリスと柳宗悦を中心とした比較研究 調査研究最終報告書、2015、25 - 40

鈴木禎宏、<対抗産業革命>論 アーツ・アンド・クラフツ運動と民藝運動の比較研究の試み、アーツ・アンド・クラフツと民藝 ウィリアム・モリスと柳宗悦を中心とした比較研究 調査研究最終報告書、2015、41 - 54

吉村典子、アーツ・アンド・クラフツ建築における「小住宅」-「コテージ」をめぐる、アーツ・アンド・クラフツと民藝 ウィリアム・モリスと柳宗悦を中心とした比較研究 調査研究最終報告書、2015、55 - 68

川島智生、実作と名もなき住まいからみる柳宗悦の建築観 レッドハウス・御大礼記念国産振興博覧会民藝館・渡邊重三郎邸、アーツ・アンド・クラフツと民藝 ウィリアム・モリスと柳宗悦を中心とした比較研究 調査研究中間報告書、2015、69 - 78

濱田琢司、発見と創造/消費と生産 農民美術運動と民芸運動、アーツ・アンド・クラフツと民藝 ウィリアム・モリスと柳宗悦を中心とした比較研究 調査研究最終報告書、2015、79 - 88

HASHIMOTO Yorimitsu、Transnational Legacy of the Arts and Crafts Movement: George Birdwood, Soetsu Yanagi and Gurcharan Singh、アーツ・アンド・クラフツと民藝 ウィリアム・モリスと柳宗悦を中心とした比較研究 調査研究最終報告書、2015、89 - 98

FUJITA Haruhiko、Nature and Architecture: In the City of God and the Land of the Gods, The Yearbook of the International Association for Aesthetics, 2013, 37-47

藤田治彦、ウィリアム・モリスとJ・A・M・ホイッスラー、アーツ・アンド・クラフツと民藝 ウィリアム・モリスと柳宗悦を中心とした比較研究 調査研究中間報告書、2013、1 - 6

吉村典子、アーツ・アンド・クラフツ建築の間取りの考察 ベイリー・スコットの変革、アーツ・アンド・クラフツと民藝 ウィリアム・モリスと柳宗悦を中心とした比較研究 調査研究中間報告書、2013、7 - 20

橋本順光、アーネスト・ハートとアリス・ハートのジャポニズム 収集と応用の交錯、アーツ・アンド・クラフツと民藝 ウィリアム・モリスと柳宗悦を中心とした比較研究 調査研究中間報告書、2013、21 - 30

川端康雄、御木本隆三とラスキン文庫の日々、ウィリアム・モリスと柳宗悦を中心とした比較研究 調査研究中間報告書、2013、31 - 56

川島智生、柳宗悦の家について 我孫子・三樹荘離れの書斎、アーツ・アンド・クラフツと民藝 ウィリアム・モリスと柳宗悦を中心とした比較研究 調査研究中間報告書、2013、57 - 64

濱田琢司、濱田庄司のイギリスと日本的なものへの展開、アーツ・アンド・クラフツと民藝 ウィリアム・モリスと柳宗悦を中心とした比較研究 調査研究中間報告書、2013、65 - 78

鈴木禎宏、「対抗産業革命」論 :アーツ・アンド・クラフツと民藝の比較研究に関する一考察、アーツ・アンド・クラフツと民藝 ウィリアム・モリスと柳宗悦を中心とした比較研究 調査研究中間報告書、2013、79 - 90

横山千晶、地域社会×アーツ・アンド・クラフツ×民藝、アーツ・アンド・クラフツと民藝 ウィリアム・モリスと柳宗悦を中心とした比較研究 調査研究中間報告書、2013、91 - 106

[学会発表](計11件)

横山千晶、庄内の民藝、亀ノ尾の里資料館特別講演、2015年3月19日、亀ノ尾の里資料館

横山千晶、庄内の土人形と私たちの暮らし、芸術文化講座招待講演、2014年11月16日、野田市郷土博物館

吉村典子、イギリスの「モダン・ホーム」としての「コテージ」、意匠学会大会、2014年7月26日、お茶の水女子大学

橋本順光、ジャポニズムと黄禍論、阪神シニアカレッジ、2014年6月24日、阪神シニアカレッジ 尼崎学習室

川端康雄、Ruskin, Morris and Japan in the 1930s、筑波大学人文社会系プロジェクト「ヨーロッパ文化における感性の諸表象の総合的研究」ワークショップ “Pre-Raphaelitism, Aestheticism and Japan”、2014年1月14日、筑波大学東

京キャンパス文京校舎

FUJITA Haruhiko, Art as a Way of Life and Life as a Way of Art, The World Congress of Philosophy, 2013年8月5日、University of Athens

FUJITA Haruhiko, The 19<sup>th</sup> International Congress of Aesthetics. William Morris: The Arts and Crafts versus the Aesthetics Movement, 2013年7月26日、Jagiellonian University

FUJITA Haruhiko, Nature and Architecture: In the City of God and the Land of the Gods, The International Association for Aesthetics Bologna Conference, 2012年6月29日、Cappella Farnese

藤田治彦、日本の美・世界の美、和泉大津カルチャー・スクール、2011年12月11日、泉大津市市民会館

藤田治彦、ヴィオレ＝ル＝デュックと北斎漫画、意匠学会研究例会、2011年9月17日、大阪工業大学

HASHIMOTO Yorimitsu, Asian Design for the Asians? The Lotus Pattern Story concerning Gurcharan Singh's 1920 Visit to Takumi Asakawa in Korea, International Symposium "New Perspectives on Asian Design and its Histories: Geographies, Chronologies, Methodologies," 2011年7月22日、The Victoria and Albert Museum.

〔図書〕(計5件)

川島智生、ミネルヴァ書房、近代京都における小学校建築 1869-1941、2015、370

川端康雄、加藤明子、東京美術、ウォーターハウス 夢幻絵画館、2014、160

別宮美穂子、鈴木禎宏(監修) 日本民藝館、柳宗悦とバーナード・リーチ往復書簡日本民藝館資料集、2014、431

川島智生、アサヒグループホールディングス株式会社、近代日本のビール 醸造史と産業遺産: アサヒビール所蔵資料でたどる、2013、2013、127

川島智生、淡交社、岩崎平太郎の仕事: 近代・奈良の建築家、2011、159

〔産業財産権〕  
出願状況(計0件)

名称:  
発明者:  
権利者:  
種類:  
番号:  
出願年月日:  
国内外の別:

取得状況(計0件)

名称:  
発明者:  
権利者:  
種類:  
番号:  
出願年月日:  
取得年月日:  
国内外の別:

〔その他〕  
ホームページ等

6. 研究組織

(1) 研究代表者

藤田治彦(FUJITA, Haruhiko)  
大阪大学・大学院文学研究科・教授  
研究者番号: 00173435

(2) 研究分担者

川端康雄(KAWABATA, Yasuo)  
日本女子大学・文学部・教授  
研究者番号: 80214683

横山千晶(YOKOYAMA, Chiaki)  
慶應義塾大学・法学部・教授  
研究者番号: 60220571

川島智生(FUJITA, Haruhiko)  
京都華頂大学・現代家政学部・教授  
研究者番号: 00173435

吉村典子 (YOSHIMURA, Noriko)  
宮城学院女子大学・学芸学部・教授  
研究者番号：20347917

鈴木禎宏 (SUZUKI, Sadahiro)  
お茶の水女子大学・人間文化創成科学研究  
科・准教授  
研究者番号：80334564

橋本順光 (HASHIMOTO, Yorimitsu)  
大阪大学・大学院文学研究科・准教授  
研究者番号：80334613

濱田琢司 (HAMADA, Takuji)  
南山大学・人文学部・准教授  
研究者番号：70346287

(3)連携研究者

中見真理 (NAKAMI, Mari)  
清泉女子大学・文学部・教授  
研究者番号：20126361

藪 亨 (YABU, Toru)  
大阪芸術大学・芸術学部・名誉教授  
研究者番号：70133519